

MANABIのひろば

集団の中での学びをとおして、「自信」と「向上心」を

玉村町立南中学校

本校では、「知・徳・体の調和のとれた、豊かな人間性と社会性を身に付け、たくましく生きる生徒の育成」を目指し、様々な教育活動を行っています。国語や数学等、教科の学力向上は当然のことですが、「思いやり」や「向上心」といった豊かな心の育成も極めて大切です。

「集団の中で学ぶ」という特質をもつ学校には、「特別活動」という領域があります。学級活動や生徒会活動、学校行事が内容としてあり、子供たちの心を育てるために非常に重要な役割を果たしています。例えば、学級活動では、みんなで作った学級目標の実現に向けた創意工夫した取組や、学級がより楽しく居心地よくなるための係活動の実施、生徒会活動では、学校全体をよりよくするための委員会活動、生徒会本部活動が展開されます。また、学校行事では、生徒同士、生徒と教員のよりよい人間関係を築き、自分だけが良ければいいのではなく、「自分もよくて、みんなもよい」と思える学年・学校を自分たち自身で作上げていこうとする意欲や姿勢を育てるために、修学旅行や高原学校、体育祭、文化祭等を行っています。

今後、世の中の国際化や情報化が進み、価値観が多様化すると、より多くの人々が納得できる考え（方法）を見つけ出す力が必要になると思います。そんなとき、特別活動の場における、いくつかの考え（方法）をつなげて新しい考えをつくったり、折り合ったりする経験が生きてくるのではないのでしょうか。

自分たちの学校をどうしたらよりよくできるのか、自分自身や仲間、身の回りの出来事に関心を持ち、気づき、考え、行動することをとおして、「自分（自分たち）はやればできる」「一人ではできないことも、仲間とならできる」という自信、「もっとよりよい学校にしたい」という向上心を一人一人の子供たちが身に付けられるように、教育活動を工夫していきます。



玉村町ふれあい教室

対象 学校へ行きたくても行けずに困っている小・中学生

日時 毎週月～金曜日
9:00～16:00

場所 役場西側「ふれあい教室」
☎・☎ 65-0091

小・中学生の不安や悩みを受け止めながら、心がふれあう喜びを体験する場所です。

玉村町通級教室

対象 ことばやきこえ、情緒面で心配のある3歳以上の幼児や小・中学生

発音の誤り・ことばの繰り返し・ことばの発達が遅い・落ち着きがない・人とうまくかわれない・学習に偏りがあるなど

場所 役場西側「玉村町通級教室」
☎ 20-4500

玉村町教育相談室

内容 子どもの心の問題など

日時 毎週月～金曜日
9:00～16:00

申し込み 電話で随時

場所 役場西側「教育相談室」
☎ 65-0081
☎ 65-0091

お子さんの教育の悩みなど、ひとりで悩んでいないでお気軽にご相談ください。

子ども教育・子育て相談

内容 子どもの心身の発達にかかわる心配ごと

日時 毎週月～金曜日(祝日を除く)
9:00～17:00

第2・4土曜日
9:00～15:00

申し込み・問い合わせ先
子ども教育支援センター
(県総合教育センター)
☎ 26-9200

平成30年度 玉村町中学生海外派遣

本年度で24回目となる「玉村町中学生海外派遣」が、8月8日～17日の10日間にわたって実施されました。中学3年生16名がアメリカ・ワシントン州エレンズバーグにおいて貴重な体験をしました。ものの感じ方や考え方、言葉や生活習慣に違いがあっても、積極的に関わることで心が通じ合うこと、互いの文化を尊重し合うことの大切さなど、たくさんのお話を学ぶことができました。

◇8月8日(水) 玉村町出発、エレンズバーグ到着、ホストファミリーとの対面

台風の接近により、飛行機が通常通り運行するか心配しましたが、予定通り日本を飛び立つことができました。成田空港から約9時間のフライトでアメリカシアトル・タコマ空港へ。その後、バスに乗り、エレンズバーグに向かいました。ホストファミリーとの対面では、英語に苦戦しながらもホストファミリーの温かい笑顔に迎えられホームステイが始まりました。

◇8月9日(木) エレンズバーグ市内の散策

エレンズバーグダウンタウンに集合。ホストファミリーの方々とゲームをしながら交流を深めました。その後、一緒にエレンズバーグ市内を散策しました。\$1ショップで買い物を体験したり、州立女子大と交流も深く玉村ローズガーデンのあるセントラルワシントン大学を案内してもらったり、エレンズバーグの歴史が学べる博物館を見学したりする中で、街の様子を知ることができました。

◇8月10日(金) プールでの活動

エレンズバーグから約75マイル(120キロ)離れたモーゼズレイクという街にあるプールに行きました。そこでは、ウォータースライダーをしたり、サーフィンをしたりしました。遊びを通して、アメリカの子供たちとのふれあいを深めることができました。



たまむらローズガーデン

◇8月11日(土)、12日(日) ホーム・デイ(ホームステイ先の家族と活動)

それぞれのホストファミリーと過ごしました。子供たちは各家庭のキッチンで日本の食事を作ってごちそうしたり、一緒に遊んだりしてホストファミリーとの交流をさらに深めました。

◇8月13日(月) レーベンワース(ドイツ村)での活動

ホーム・デイを終えた団員たちは、ホストファミリーと心の距離を大きく縮めることができました。レーベンワースに向かう途中に、スモールウッドハーベストという場所に寄り、小動物と触れ合ったり、遊具で遊んだりしました。英語を話す子供たちの様子もとても様になっていました。レーベンワースでは、ホストファミリーの子供たちと街並みを歩いたり、買い物をしたりしました。



エレンズバーグダウンタウン



スモールウッドハーベスト

◇8月14日(火) 中学校の見学、さよならパーティー

始めにもらった予定では、炭鉱の町ロザリンでの活動でしたが、山火事でエレンズバーグ市内も空気が曇っている状況になり、野外での活動を中止しました。この日はエレンズバーグの中学校を見学したり、中学校の目の前にある児童館のような子供を預かる施設で、ダンスをしたり、ゲームをしたりしました。夕方からは、今回お世話になったホストファミリーの皆さんやこれまでの海外派遣でお世話になったホストファミリーの皆さんが集まり、さよならパーティーを催していただきました。団員からは日本の歌や踊りを披露したり、日本の遊びを紹介したりして、感謝の気持ちを精一杯伝えました。



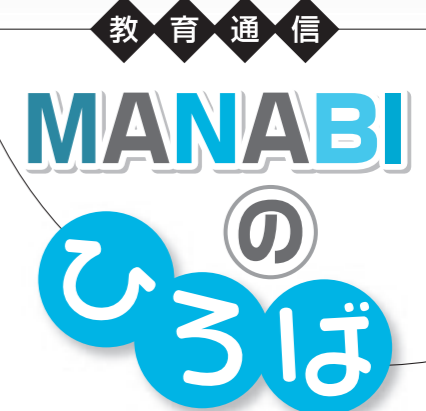
セーフコ球場

◇8月15日(水) エレンズバーグ出発、シアトル市内見学

ホストファミリーと再会の約束をして、涙の別れをしました。この貴重な体験はきっと、自分に、学校に、玉村町に生かされると思います。その後は、スターバックス1号店や現存するマーケットではアメリカで最も歴史の長いバイクプレイスマーケットを見学し、アメリカの文化の一端を感じることができました。シアトルマリナーズの本拠地であるセーフコ球場を見学することができました。普段は入れない部屋にも入ることができ、とても感激しました。

◇8月16日(木) シアトル出発 17日(金) 帰国

団員全員、多くのことに挑戦し、日本では体験できない経験をする中で、いろいろな発見をすることができました。16名全員、さわやかな笑顔で玉村町に戻ってきました。



学校教育課 ☎ 64-7713

教育委員会HP (町のHPから入れます)
<http://www.town.tamamura.lg.jp/>